

第67期 中間報告書

2023年2月21日～2023年8月20日



証券コード: 8276

株主のみなさまへ



地域社会の活性化を実現し、
100年続く
「地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を
目指します。

代表取締役社長執行役員 平松正嗣

株主の皆さんにおかれましては、日頃より当社グループの事業、経営に対するご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに、第67期中間報告書をお届けいたします。

国内小売業界および飲食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の位置づけ移行に伴う制限緩和を受けて、外出需要回復や客数増加、継続的な物価上昇による一品単価上昇により、営業収益は増加しました。また、光熱費の使用量削減の取り組みや燃料調整費が想定ほど上昇しなかったことに加え、広告宣伝費の効果的運用や生産性改善による人件費の削減により、販売管理費を抑制することができ、増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,079億60百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益63億86百万円(前年同期比32.3%増)、経常利益69億16百万円(前年同期比24.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、41億29百万円(前年同期比38.5%増)となりました。

当社は「地域になくてはならない存在」の実現に向けて、「平和堂ならではの地域密着ライフスタイル総合(創造)企業」を目指し、「地域共創」を基本理念とし、行動基準としての

サステナビリティや事業基盤としてのDXを取り入れながら、「地域の健康(地域が活性化された状態の実現)」を土台に人材育成、筋肉質経営を中期経営計画として進めています。プライベートブランド商品の展開強化や、商品の品質向上やサービス改善、地元の食材や商材とのコラボレーションなど、平和堂ブランドを総合的に高めていくとともに、魅力あるショッピングセンターづくりをおこなってまいります。

また、現代社会におけるコミュニティの減少、高齢者の孤立などが顕在化する中、当社が提供する場を「ライフライン」のみならず「サードプレイス」として日常的に人々が集まる場所となるような地域のコミュニティづくりをおこない、地域の活性化につなげてまいります。

環境の変化が激しい時代に対応し、様々な取組みを進めていくことが求められているからこそ、平和堂は、地域との結びつきを重視し、従業員とともに地域に貢献し続ける企業を目指してまいります。

株主の皆さんには、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年11月